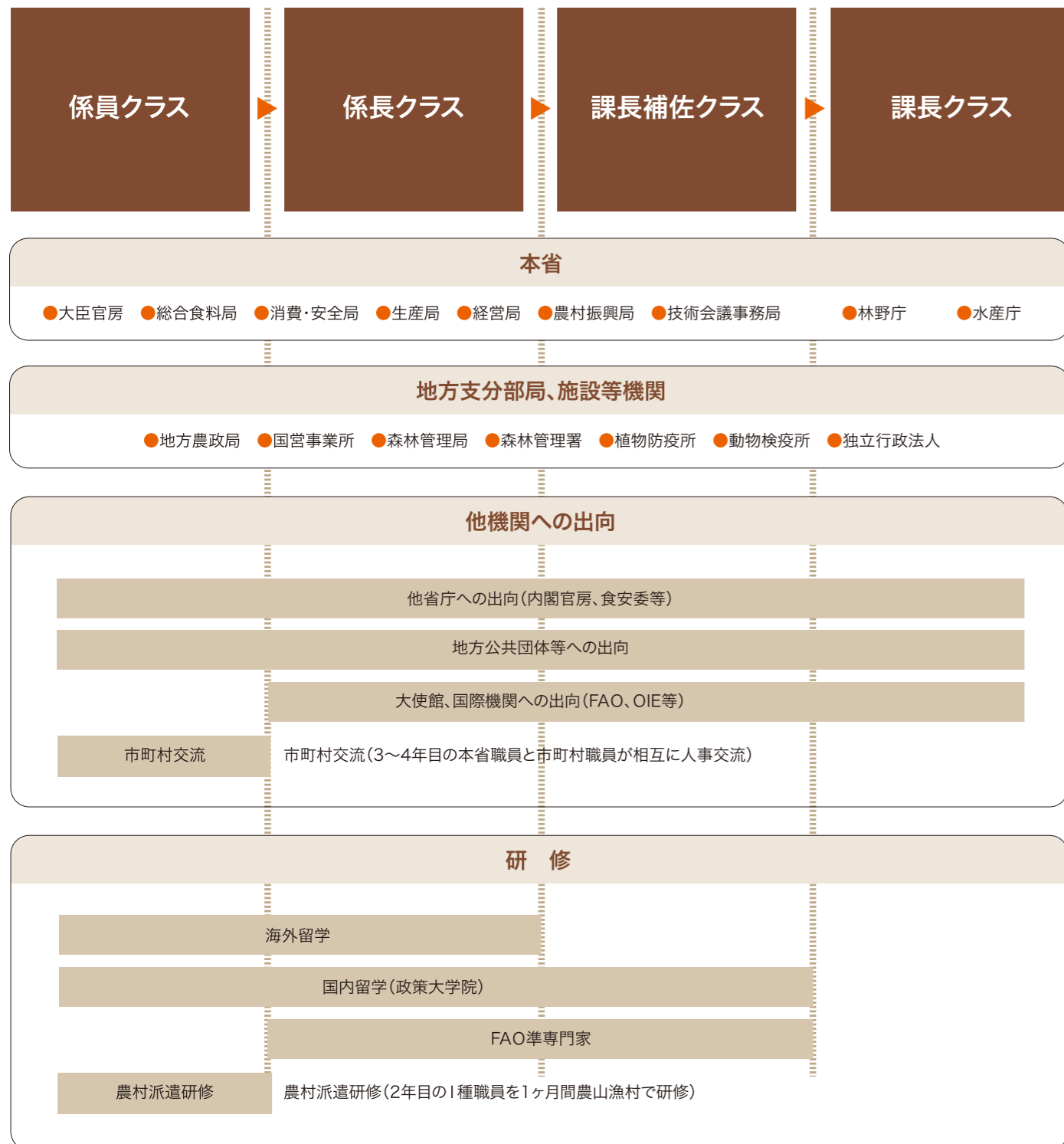


キャリアパス



研修制度

農林水産省では、様々な部署で勤務することで、幅広い知識と経験を養うための多様なキャリアパスをご用意しています。出向では、他省庁や地方公共団体、国際機関など、グローバルにもローカルにも活躍することができます。また、職員の資質の向上を図るために各種研修を行っており、各自の自己研鑽を推奨しています。どんな自分になりたいか。「なりたい自分」を実現するためのキャリアアップが可能です。

初任者研修(入省1年目)

入省1年目の職員を対象としたプログラムです。まず、他府省庁職員との合同研修が、4月上旬の2泊3日と5月以降の約1ヶ月の2本立てで行われます。政策課題研究やディベート、地方自治体での研修など、様々なプログラムが組み込まれています。さらに、4月中旬には農林水産省独自の研修において、農林水産政策全般に関する講義を受講するとともに、実際に圃場に出て農業の生産分野に関する実地研修等を行います。

農村派遣研修(入省2年目)

各人の設定したテーマごとに全国各地の農山漁村に派遣され、1ヶ月間農家に泊まり込んで現場の作業を体験する研修となります。生産現場の実態を見聞きし、農家の方と意見交換をする中で、現場に根ざした政策立案能力を取得することを目的としています。

民間派遣研修(係長級~)

様々な業態の民間企業において、接客や広報業務などの実地研修を行います。行政に求められるニーズが多様化する中で、これらのニーズに的確に対応できるよう、職員の資質と能力の向上を目的としています。

英会話研修(入省1年目)

民間の英語学校で英会話の授業を受講する研修です。事前にテストを受け、個人のレベルに応じた授業を実施します。

国内留学(入省3年目~)

人事院の国内研究員制度により、国内の大学の修士課程等に1~2年間派遣する制度です。

海外留学(入省4年目~)

人事院の長期在外研究員制度により、修士号取得を目的として海外の大学へ2年間派遣する制度です。公共政策学や国際関係論、食品衛生学など、公務に活かせる学問分野を各人で自由に選択できます。派遣先国は、アメリカ、イギリス、中国、フランス、オーストラリア、オランダ等、多岐にわたります。

各種勉強会の開催、助成(全職員対象)

月に1度、各界の有識者等を講師とした職員能力向上講座を開催しています。また、職員有志による自主勉強会への助成や、大学などの公開講座を受講する際の助成なども行っています。

研修クローズアップ!

農村派遣研修体験レポート

派遣先:福井県若狭町 かみなか農楽舎



経営局経営政策課

一条 美和

Miwa Ichijo

平成19年入省(経済)

平成19年4月 現職

派遣先でどういったことを経験しましたか?

私が派遣されたのは、町と民間企業が共同で設立した新規就農者用の研修施設でした。就農を目指す同年代の若者と寝食を共にしながら、農業技術について学ぶとともに、独り立ちして農業経営を実践している卒業生達と、時には酒の席で、農業に賭ける気持ち、日本農業の将来等について意見を交わしました。日本の農業は、就業者の減少や高齢化の進展というようにマイナスの側面から語られがちですが、彼らは地に足をつけながら、農業というビジネスの可能性を信じて前に向かっていました。

今後の仕事にどう活かそうと思えますか?

研修を通じて実感したのは、行政の仕事は常に現場に行かなければ答が分からないということ、そして、とかく政治家との調整や役所内外の縦割り意識に阻まれやすい霞ヶ関の中で、「自分は現場のことを知らない」という謙虚な意識を持ち続けるのが重要ということです。

今ほど消費者の関心が食に向かっている時代はないにもかかわらず、一方でそれを生み出す農業が疲弊しているという現状はやはりどこかが歪んでいる。食を取り巻く消費者と生産者が共にハッピーになれるよう、行政としてどんな役割を果たすべきか模索していきたいです。



筆者、後列右から2番目